



# みどりのこだま

福島県会津農林事務所会津坂下農業普及所

(住所) 河沼郡会津坂下町大字見明字南原 881 (電話) 0242-83-2112

金山普及所

(住所) 大沼郡金山町大字川口字上町 656-1 (電話) 0241-54-2801

## 豊かなむらづくり顕彰事業



令和 2 年 1 月 31 日、福島市の杉妻会館において「令和元年度豊かなむらづくり顕彰事業表彰式」が行われ、会津美里町の「寺崎水稲直播営農組合」が受賞されました。「豊かなむらづくり顕彰事業」は、昭和 56 年度から県と福島民友新聞社との共催で実施し、むらづくり活動や農業生産活動において顕著な業績を収めている集落や団体等を表彰しています。

「寺崎水稲直播営農組合」は、高齢化による担い手不足の解消を目的に、平成 28 年度に会津美里町寺崎集落の農業者 12 名で設立され、省力的な直播栽培に取り組みました。

倒伏と雑草が課題でしたが、農業普及所、関係機関・団体、メーカー等と連携し、日本初の「可変施肥直播機」の導入や「新落水出芽法」に取り組み、課題の解決を図っています。今後も集団的な営農活動を通じて、集落の維持・発展をはじめ、地域農業の振興に大きく貢献することが期待されます。

「寺崎水稲直播営農組合」の皆さん、本当におめでとうございました。



可変施肥直播機による播種作業



収穫前の直播実証ほ (写真左)

## 新規就農者 頑張ってます！

山内克規さん（会津美里町）

経営内容：水稲、たばこ、そば

地域では高齢化と担い手不足に伴い遊休農地が増加しており、この解消などで地域に貢献したいという思いで就農しました。また、両親が農業に取り組む姿を見て、昔から就農したい思いもありました。

たばこを取り巻く環境は厳しくなっていますが、経営的には魅力のある作物です。今後も作物としてのたばこを継続しながら、地域の担い手となるよう頑張っていきます。



橋本竜太郎さん（会津美里町）

経営内容：果樹（ブドウ、ナシ）

農業は自分次第で可能性を広げられる魅力ある分野だと考え就農しました。

現在、醸造用ブドウ、生食ブドウ、和ナシの栽培に挑戦中です。

将来は、家族単位で生産から加工、販売まで一貫して手掛ける農業を実践したいと考えています。



## 新規就農冬期研修を開催しました！

令和元年12月18、19日の2日間、農業総合センター会津地域研究所において、「新規就農者等冬期研修」を開催しました。

研修は、新規就農者や就農希望者等の農業経営に必要な知識等の習得や資質向上、相互交流を目的に、当普及所職員から土壌・植物栄養の基礎、GAPの基礎、病害虫の基礎、鳥獣害の現状などについて講義しました。

また、有限会社カネダイ／会津スカイマルチアカデミーの藤田晴樹氏を講師として農業用ドローン等の最先端情報について講義を頂きました。講義には近隣市町村の新規就農者及び就農希望者が22名参加し、熱心に聴講されました。

研修生からは、「今後の参考になった」「来年度も参加したい」「野菜や果樹など品目を絞った研修や現地研修もお願いしたい」などの意見が寄せられました。アンケートの結果も踏まえて、当普及所では、今後も新規就農者等の農業経営の早期安定を支援していきます。



「GAPの基礎」講義風景

## 金山普及所トピックス① ー昭和かすみ草振興協議会が発足しましたー

J A会津よつばかすみ草部会は、全国有数の宿根かすみ草生産組織であり、特に夏秋期の販売量は、日本一の産地です。

現在のかすみ草部会は昭和村を中心に柳津町、三島町の生産者で構成されていますが、令和2年度からは金山町の生産者も加わる予定です。

このような中、宿根カスミソウのブランドである「昭和かすみ草」の振興を図るため、中山間地域の4町村とJ A、生産者、県が一丸となり、昨年9月31日に各町村長、J A組合長、かすみ草部会長、会津農林事務所長が会して設立総会を開き、昭和村長を会長とする「昭和かすみ草振興協議会」が設立され、各自治体やJ Aの熱意とともに、新聞等においても大きく注目を集めました。

また、去る2月14日の臨時総会では、「昭和かすみ草」のブランド形成に重要な役割を果たす集出荷施設、通称「雪室」の拡充や、将来の新規就農者の受け入れに係る連携等活発な協議が行われました。

今後、本協議会の活動により奥会津地域における宿根カスミソウの生産振興が図られ、それが地域の維持、発展につながっていくものと期待されています。



## 金山普及所トピックス② ー雪室の雪、確保できましたー

記録的な暖冬の影響により、宿根カスミソウの集出荷施設「雪室」に必要な「雪の確保」が危惧されていましたが、昭和村役場の迅速な判断と対応により、博士峠の路上等から雪を運び、無事、雪室へ雪を搬入することができました。これら一連の作業では、県会津若松建設事務所をはじめ関係機関の連携により、円滑に解決することができました。



雪室前での雪の集積作業



ロータリー車で雪室庫内へ雪入れ

## 令和2年度農業短期大学校『アグリカレッジ福島』の各種研修の開催について

令和2年度も農業短期大学校（アグリカレッジ福島）では、就農研修、農業機械研修、農産加工研修、公開講座など数多くの研修を予定しています。

開催期間、応募方法など詳細は、農業短期大学校ホームページまたは以下の問い合わせ先に確認してください。定員を超えた場合は抽選となります。是非ご参加いただき、皆様の農業経営にお役立てください。

農業研修（農業短期大学校）

就農研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初級（実習を中心とした基礎研修）</li> <li>・中級（講義を中心とした研修）</li> </ul>
農産加工研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎コース</li> <li>・応用コース</li> </ul>
農業機械研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全運転技術総合コース （けん引・大型特殊免許（農耕車限定））</li> <li>・技術向上コース</li> <li>・農作業安全推進コース</li> </ul>
公開講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭菜園コース</li> <li>・趣味の草花</li> <li>・GAP</li> </ul>

お問い合わせ先：

農業総合センター農業短期大学校  
研修部 TEL:0248-42-4114



### 農作業事故に注意しましょう！

春の農作業は、事故の多発する時期です。慣れた作業でも、ふとした瞬間に事故は起こります。農作業中のリスクを予め確認し、余裕のある作業計画で農作業事故を防ぎましょう。

特にトラクターでは、①走行中の転倒、転落事故、②作業機の着脱時の事故、③乗降中の転落事故が多く発生していますので注意しましょう。

「ワンチェック」、「ワンアクション」で農作業安全！

### 所長のひとりごと

アメダス（若松）の年平均気温		
1960-1969	10年間	11.3℃
1970-1979	10年間	11.2℃
1980-1989	10年間	11.1℃
1990-1999	10年間	12.0℃
2000-2009	10年間	11.9℃
2010-2019	10年間	12.2℃
2010-2014	5年間	11.8℃
2015-2019	5年間	12.6℃
2018-2019	2年間	12.8℃

地球温暖化が叫ばれ、災害発生を含め異常気象を肌で感じる事が多くなった。この冬も暖冬から始まり記録的に積雪がない。

若松アメダスにおける過去の年平均気温を10年ないし5年刻みで平均してみた。私が生まれた1960年頃は11.3℃だった。それが過去10年では12.2℃。50年間ではほぼ1℃上昇したことになるが、直近5年間では12.6℃、直近2年間では12.8℃に上昇、わずか5年間で0.6℃も跳ね上がったことになる。

少雪のまま春を迎える。夏場の水不足やゲリラ豪雨による災害、そして猛暑が続かないことを祈るのみである。



（会津坂下農業普及所長・高橋）

